



# 第十五回 語り部 養成講座閉講式

七月二十六日(土)に、第十五回語り部養成講座の閉講式が、夕鶴の里語り部ホールで行われました。初めて養成講座に参加された方も、何年も通っている方も、堂々とした語りを披露してくれました。受講生の発表の後には、講師からの語りのプレゼントもあり、会場は暖かい拍手で応えていました。

## ☆子どももの語り★

- 『和尚と小僧』 石井 さらら(宮内小4年)
- 『寝言兄弟』 鈴木 愛叶(宮内小4年)
- 『長い名の子』 遠藤 優綺(宮内小4年)

夕鶴の里資料館報  
平成26年8月20日  
第44号  
発行 夕鶴の里  
TEL 47-5800

## ☆大人の語り★

- 『十二支ばなし』 佐藤 瑞姫(沖郷小5年)
- 『クモとハチ』 佐藤 百華(沖郷小1年)
- 『まんじゅうこわい』 小川 駿汰(漆山小6年)
- 『鼠の相撲取り』 齋藤 和子
- 『おぶさろの化け物』 加藤 知実
- 『大銀杏』 安部 晶子
- 『かつぱのくれたかけ硯』 佐々木 恵子
- 『音羽の滝』 高橋 弘美
- 『禅問答』 平山 万貴子
- 『若返りの水』 竹内 浩子

# ふるさと講座

平成26年度山形県生涯学習文化財団の支援事業として、ふるさと講座が開講されました。第一回は六月二十八日(日)、講師に新庄市文化財保護審議会会長、大友義助氏をお招きし、『民話を語り伝えよう』と題して開催されました。



- ☆講師の語り★
- 『ぼたもちびつき』 島貫 貞子
- 『喉焼け団子山』 多勢 久美子
- 『双松の松』

～ふるさと講座 今後の日程～  
**第3回 9月20日(土)14:00～**  
 講師:作家 秋田 博氏  
 場所:結城豊太郎記念館  
**第4回 10月18日(日)10:00～**  
 講師:民話会ゆうづる会長 多勢 久美子氏  
 場所:結城豊太郎記念館  
 (受講料:一講座300円)

▼佐野 賢治 氏  
(左手に武田正先生のお写真)



▲大友 義助 氏

第二回目には、神奈川大学経済学部教授、佐野賢治氏をお招きしました。「故 武田正先生が残された民話研究」と題して講演が開催されました。

# 民話会ゆうづる 会員紹介

今回は、民話会ゆうづるの会員、堀敏子さんをご紹介します。

Q、民話会ゆうづるの会員となったきっかけは？

A、堀  
私が会員になったのは平成14年です。その頃は養成講座に参加する人も少なく、講座に参加して欲しいと電話があり参加しました。講座が終わってからせつかく勉強したのだからこれからも勉強してみようと思つて現在に至つております。

Q、語り部となられて良かった事はなんですか？

A、堀  
私は民話に関して興味がありませんでした。平成5年「夕鶴の里」が完成した時、民話を聞きに来る人がいるのだらうかと思つていました。自分が「語り部」になり、数年経つて民話の楽しさ、大切さを身にしみて感じるようになりました。沢山の人が「夕鶴の里」に来て民話を聞いて心豊かなひととをきを通じて欲しいと思うようになりまし。

Q、語り部として一番嬉しかったことをあげるとしたら？

A、堀  
語り部には定年がないことです。私の年令(70代)では社会的には何もする事がないのに社会とのつながりが沢山あり、会議も月に数回あり、行事も

あり、社会の中で活動出来る事です。

Q、昔話(民話)とは、堀さんにとつてなんですか？また、好きな民話は？

A、堀  
民話は友達みたいなものです。民話を通して沢山の友達がいる、お客様がいる。各地で民話祭りがあり、参加する事により珍しい民話を聞く事が出来る。また、その土地を知り人と触れ合う事が出来る。好きな民話は「妹背の松」

Q、語りを通して、大切にしている事、物でも教えてください。

A、健康第一です。語りの当番の時は最高の体調で笑顔で楽しくお客様に接したいと思つております。また、声を大切にしております。お客様によく聞こえるように大きい声でハッキリ話をする、これは難しい。自分の思つている様な声はいまも勉強中です。

Q、最後に、これからの事や今思つていること。何でも…

A、漆山小学校に行つて朝の大切な時間(20分)学年ごとに民話会ゆうづるの語り部さんが民話を語る関係が出来た事とても嬉しく思つております。「こういうことはしてはいけない」と民話を聞きながら自然に子どもたちが覚える。民話を通して色々学んで欲しい

と思つております。子どもたちが大人になり「ふるさと」を想う時、民話を語つたり聞いた事を送つて欲しいと思つております。



堀 敏子 さん

## 漆山地区 地名伝説集

### 〈沼の平〉

奈の沢の沼の平は、今は田圃になつていますが、昔は沼地であつた雨が降り続き、山から石が転がつてくるので、村人も困り果つていた。この沼の主の蛇が雨を呼ぶのだからと思つた村人は、金の棒を投げ込めば蛇を追い出すことができようと、鍛冶屋に頼んで金の棒を作らせて、沼に投げ込んで蛇を退散させた。その蛇は白竜湖に住み替えたのだと言ふ。

地名伝説担当編集

おりはたの里づくり  
推進会議

# おしらせ

○紙芝居づくり講習会

日時：九月六日(土)

午後一時三十分

場所：夕鶴の里 和室

○「あゝ野麦峠」上映会

日時：九月十三日(土)

午後一時

..九月十四日(日)

午前十時

場所：蔵楽

○昔のあそび

日時：九月二十七日(土)

午前十時

場所：夕鶴の里

○第十五回 民話まつり

日時：十月五日(日)

午後一時三十分

場所：夕鶴の里

語り部ホール

○第十六回 子どもまつり

日時：十月十二日(日)

午前一時三十分

場所：夕鶴の里

語り部ホール